

『ゼクシィPremier』 WINTER 2017の表紙を飾るのはこの方！

## 平山あや、密かに抱く結婚願望を明かす 「1人での覚悟ができる前に（笑）」

30代花婿向けの初となる特別付録『ゼクシィPremier HOMME』には、2年ぶりに長編小説を発表した川村元気さんが登場「結婚とは不条理。でも、それを楽しんで生きる。」

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都中央区 代表取締役社長：山口 文洋）が企画制作するゼクシィの姉妹版『ゼクシィPremier（プレミア）』は、WINTER 2017（2016年11月22日発売）で平山あやさんを表紙に起用することとなりましたのでお知らせいたします。

平山あやさんが、密かな結婚への想いや明るく元気なイメージからは少し意外に感じる恋愛観、20代から30代にかけて変化した人生観など、普段窺い知ることのできない等身大の素顔を語ってくれました。

### 密かに抱く結婚願望「1人での覚悟ができる前に（笑）」

平山さんはご家族の影響もあり、ご自身も早めに結婚するつもりだったそうで「実は今焦っています。結婚している友人が最愛の人と出会うと『この人と結婚するか』というインスピレーションを感じると言っていたのですが、今のところ全くなく……。このままだと一人での覚悟ができてしまいそうですね。そうなる前に、もうそろそろ結婚したいです（笑）」と、密かな結婚願望を明かしてくれました。そんな平山さんは、30歳を機にご自身を見つめ直したことで結婚観にも変化があったそう。「若い頃は『結婚＝主婦』という解釈をしていたので、結婚したら絶対に仕事を辞めなきゃと思っていました。ですが、今では選んだパートナーときちんと話して、その時の感覚で決めようと思っています。大事なことは話し合っ決めて2人でやりたいですね」と、未来の花婿さんへの想いを明かしてくれました。

また、10代の頃から表舞台で活躍され、普段から明るく元気な印象が強い平山さんですが、実は意外とシャイなところもあるようで、「プロポーズは家で会話の中でサラッと言われたいです。プライベートになると照れてしまうので、みんなの前でプロポーズは恥ずかしすぎて無理です……」と、可愛らしい乙女な一面も。憧れの結婚スタイルについては、「好きなカフェとかでカジュアルにやりたいです。ゴージャス系ではなくアンティーク風で、花をカラフルにするなど、オトナ可愛い感じ。ドレスは特注で作って何回かお色直ししたいですね」と、こだわりの詰まったプランを明かしてくれました。



▲『ゼクシィPremier』 WINTER 2017 表紙

### ○ゼクシィPremier編集長 木下美紀が語る、平山さんの起用理由：

明るく元気で若々しい印象の平山さんですが、実はもう30代の素敵な女性。いつもとは違った“大人な”平山さんを拝見したく、少しクールなスタイリングに挑戦していただきました。艶やかな彼女の表情がとても新鮮で、30代花嫁さんの気持ちも盛り上げてくれるのではと思っています。

### 「自然体でいられることが大事」30代になったからこそ生まれた心や時間のゆとり

「20代の頃、バーとかオシャレなお店でひとりでお酒を飲める女性に対して“オトナだね”と憧れていました」と、振り返ってくれた平山さん。30代を迎え、今の心境を聞いてみると、「あの時憧れていた女性みたいに、今ではひとりでフラッと飲みに行って、そこで考え事を整理することも多いんですよ」と、若い頃の憧れが日常生活の一部になっていることを嬉しそうに語ってくれました。最後に平山さんが目指す理想の女性について聞いてみると「自然体でいられる人」と即答した後に、「誰かに流されるわけではなく、ひとりの時間を有効活用しながら、自分としての意思や考え方をしっかり構築していく人。実際に周りにはいるんですけど、そういう人から生まれるアイデアや言葉って素敵ですよ。そんな自分をしっかり持った、自然体でいられる人になれたらいいなと思います」と語ってくれました。今後も平山さんの活躍から目が離せません。

【本件に関するお問い合わせ先】

[http://www.recruit-mp.co.jp/support/press\\_inquiry/](http://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/)

## 媒体情報

33歳からの大人な結婚準備に役立つ『ゼクシィPremier (プレミア) WINTER 2017』。今号は、結婚式のお金の掛け方を解説した「30代花嫁の見積り&リアル相場BOOK」付き。また、30代男性向けの結婚準備ノウハウをまとめた「ゼクシィPremier HOMME」も新登場。その他、第一特集の「“時短”で進める結婚準備」や別冊付録「日本の老舗&外資ホテル」など。《公式サイト》<http://zexy.net/mar/honshi/premier.html>

## 出演者情報 (平山あや)

栃木県出身。ホリプロタレントスカウトキャラバンでグランプリを獲得し、98年に芸能界デビュー後、モデル、タレント、女優として活躍。現在、ドラマ「黒い十人の女」(日本テレビ系)に出演中。

## アザーカット



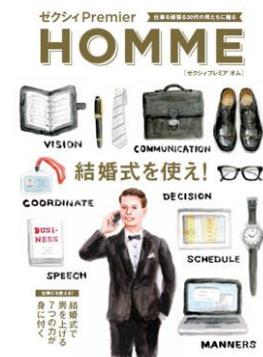
## 花婿必見付録！結婚式サポートBOOK「ゼクシィPremier HOMME」が登場 あのヒット作を手掛ける、いま話題のプロデューサー川村元気さんが登場！ 30代花婿にエール「結婚とは不条理。でも、それを楽しんで生きる。」

『ゼクシィPremier WINTER 2017』には、結婚準備のプロセスをビジネススキルの向上機会に置き換えたサポートBOOK「ゼクシィPremier HOMME」が付録として登場。

さらに誌面では、「告白」「悪人」「君の名は。」など数々のヒット作品を生み出してきた話題のプロデューサーの川村元気さんにスペシャルインタビューも実施。最新作『四月になれば彼女は』の執筆を通して感じた川村さんの結婚観について教えていただきました。

## もしも、川村元気が結婚式をプロデュースするならば……まず決めるのは夫婦生活でも重要なアレ 実際に100人以上の男女を取材してわかった30代の結婚像

「現代の恋愛と結婚について本気で考えたら、自分でも驚くような発見があり、そこから新しい物語ができました」と川村さん。今回、30歳を過ぎた男女の恋愛小説を書くにあたって100人に取材。「30代の男女は自己愛が強いために、結婚が自由になるお金や時間、仕事との天秤になっているんです。恋愛や結婚によって人生を変えられたくないと思ってしまふんですね」と、今どきの30代男女の考えを代弁。しかし、ご自身は結婚に対して前向きな考えをお持ちのようで「自分の人生が変わっていくことを、嫌がらずにどう変わっていくか楽しむべきだと思います。誰かに人生を変えられることは不条理だけど、それをむしろ楽しむくらいが良いですね」と結婚への心構えを明かしてくれました。そんな川村さんに、結婚式をプロデュースする機会があったらどうしたいか尋ねてみると、「最初に新郎新婦のどちらを監督にするか決めて、どちらの意思を優先するかハッキリさせます。起承転結を意識的に組み込み、物語のような結婚式にしたいですね」と、作り手ならではの構想を明かしてくださいました。



結婚式をただ「盛り上げる」と思っているだけでは、空回りや後悔が多く、花嫁、親族や友人、式場関係者のやり取りも日々の仕事をこなしながらの結婚準備は大変だ。

この機会を覚えてみてください

やること

- タスク管理能力
- 決断力
- コミュニケーション力
- コミュニケーション力
- コミュニケーション力
- コミュニケーション力

とすると結婚式は

タスク管理能力や決断力が必要とする機会が多く、内外の人とのコミュニケーション力が求められる。コミュニケーション力が強化される。

つまり、いろいろな方を巻き付け、準備していく準備なんです。

だから  
**結婚式を使いえ!**

